

味の素「食と健康」国際協力支援プログラム

(略称：AINプログラム)

2016 年度助成事業 応募要項

公募期間：2015年9月1日(火)～10月30日(金)

(目 次)

<申請にあたっての注意事項>

- プログラムの趣旨…………… 2
- 1. 支援内容…………… 2-3
 - 1) 対象となる課題
 - 2) 対象となる活動の種類
 - 3) 対象となる国
 - 4) 支援期間・支援金額
- 2. 申請者の資格……………3-4
- 3. 選考の基準と選考方法…4-5
 - 1) 選考の基準
 - 2) 選考方法・スケジュール
- 4. 申請方法……………5
- 5. 公募実施体制……………6

<申請用紙記入の手引き>

- 1. 申請書類一覧……………7
- 2. 申請書の記入について…7-10
- 3. その他、別紙記入方法…………10

申請にあたってのご注意事項

プログラムの趣旨

「味の素『食と健康』国際協力支援プログラム」(略称：AINプログラム)は、「食・栄養分野の国際協力」の現地活動支援を通して、開発途上国の人々の生活の質の向上を目指す助成プログラムです。

地域固有の環境(自然、社会・経済、文化等)に根ざした「食・栄養」への取り組みは、日々の暮らしの中でくり返し営まれることにより一人ひとりの栄養改善に留まらず、世代や性別を超えて継承され、ひいては地域の自信と誇りにつながります。人々の、地域の、そして地球の持続可能なく生きる力>を育む「食・栄養分野の国際協力」活動を、本プログラムを通して皆様と共に創っていくことができれば幸いです。

皆様からの積極的なご応募をお待ちしています。

1. 支援内容

1) 対象となる課題

「食・栄養」分野、およびこれらと関連する「保健」分野に関する課題

- ・「食・栄養」分野の課題解決に向けた主な活動とは：
 - － 栄養問題の改善活動
 - － 地域の優先課題(貧困、環境、初等教育、福祉、女性のエンパワーメント等)の解決促進につながる食・栄養関連の社会的な仕組みづくり
- ・「保健」分野については、人々の疾病予防や健康増進につながり、良好な「食・栄養」生活の土台をつくるものとし、対象に含みます。
但し、「食・栄養」分野の課題との関連性が明確であることを条件とします。
申請書にはそれらの関係を明記してください。
- ・すべての課題について、社会・文化・宗教的な理由により見解が分かれるような事業に対する支援は、慎重に検討します。

2) 対象となる活動の種類

実践活動

- ・ただし、将来的に「実践活動」につながる事が期待できる場合は、教育・教材等開発／提供や技術研究についても対象となります。
申請書にその点について明記してください。
- ・物品の寄付や施設の建設のみで完結する事業は対象外とします。
ただし「建設事業」については、診療所、学校、給食施設などの施設建設が事業目標を達成するための投入の一部、という位置づけの場合は対象となります。
(建設費は、助成総額の50%を上限といたします。)

3) 対象となる国

【アジア】 インド、中華人民共和国、ネパール、バングラデシュ、東ティモール、ミャンマー、ラオス

【南 米】 エクアドル、コロンビア、パラグアイ、ペルー、ボリビア

*カンボジアにつきましては対象国ではありますが、現在、複数のプロジェクトが進行中であるため、今回の募集は見送らせて頂きます。

*インドネシア、タイ、フィリピン、ブラジル、ベトナム、マレーシアにつきましては、弊社現地法人プログラムとの協働を予定しておりますので直接ご相談ください。（ご相談先：ain2016@ajinomoto.com）

4) 支援期間・支援金額

1 件あたり 上限 300 万円／年 × 最長 3 年間

- ・原則として、支援開始日は 2016 年 4 月 1 日とします。
- ・予算書の作成方法、費目等については「P.10 8 の『別紙 1：予算計画書』作成のための内容・注意事項」を参照して下さい。
- ・他の助成団体等からも助成を受けることは奨励します。ただしこの場合は、当社支援に関わる活動（事業目標・受益者等）について明確にしてください。
- ・支援金額は、はじめに提出された予算書の通りとは限りません。精査し、必要かつ適切な予算書の再提出を求める場合があります。

2 申請者の資格

① 原則として、日本に拠点を有する非営利団体（法人格の有無は不問）であること

- ・海外に本部を置く NGO の日本支部も支援対象となります。

<海外にのみ拠点を有する非営利団体の取り扱い>

- ・日本に拠点を有する非営利団体の現地カウンターパート（非営利団体）として実施体制の一端を担うことは認めます。
- ・原則として、本プログラムに関する海外での公示は行いません。

② 組織を発足させてから 2 年以上の事業実績を有すること

- ・直近の過去 2 カ年分の事業報告書の提出を条件とします。

③ 事業を展開するための現地事務所があること／カウンターパートがいること

- ・「現地事務所」と「現地カウンターパート」の両方は必要ありません。

ご自身の団体の「現地事務所」（支部）または「現地カウンターパート」（現地 NG など）のいずれかがあれば申請が可能です。

なお、現地実施体制の中で両方を位置づけることは問題ありません。この場合、申請書の『事業実施国の拠点』は、ご自身の団体の「現地事務所」（支部）としてください。

④政治的、営利的、宗教的活動は類似の行為を含めて一切行っていないこと

- ・本プログラムにおける「宗教的活動」の定義は原則として次の通りです。
 - 1) 宗教法人格をもつこと。
 - 2) 布教活動を目的とした事業を行っていること。

3 選考の基準と選考方法

1) 選考の基準

①申請事業の内容

- ・プログラム趣旨との適合性
 - －「食・栄養」分野の課題解決、栄養改善につながるかどうか。
- ・公益性
 - －対象地域の社会ニーズに対応した有益な活動であるかどうか。
- ・持続性
 - －自助努力による持続可能性の高い活動であるかどうか。

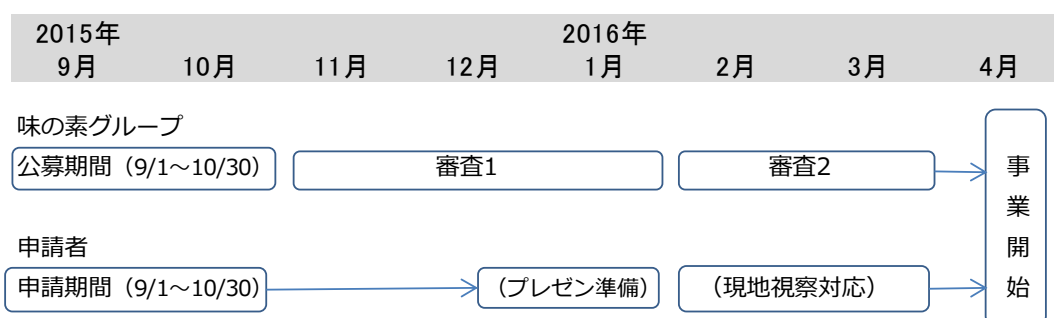
②事業実施のための諸条件

- ・実施体制が整っているかどうか。
- ・予算設定は適切かどうか。

*その他参考情報

- ・申請事業において、味の素グループへのご要望があれば、「申請書：7.当プログラムに対するご意見」欄に記入してください。

2) 選考方法・スケジュール



- ・審査1：AIN※委員会による書類審査及び団体プレゼンにて、支援候補プロジェクトを選出、もしくは決定。審査結果は2016年1月末日までに、全ての申請団体宛に電子メールにて通知。（※AINに関する詳細はP.6参照）

- ・ 審査 2 : 審査 1 で選出され、事前視察が必要と判断されたプロジェクトについては、AIN 事務局および味の素グループ海外法人が現地視察。
事務局は視察結果を AIN 委員会へ報告。
AIN 委員会の最終推薦を経て、味の素株式会社にて支援事業を決定。
審査結果は 2016 年 3 月末までに、審査 1 で選出された申請団体宛に電子メールにて通知。
- ・ 選考の過程では必要に応じて、申請団体に対して資料の提出やインタビュー（聞き取り調査）を依頼 することがあります。
- ・ 採否の理由など、選考に関するお問合せには、原則として応じられません。
- ・ 採用となった場合、団体名・代表者名・所在地・支援事業概要・支援金額等を、味の素グループのホームページ等にて公表します。

4. 申請方法

■ 応募期間

2015 年 9 月 1 日 (火) ~10 月 30 日 (金) 必着

■ 応募までの手順

手順 1 応募要項、申請用紙、添付別紙を下記サイトからダウンロード

<味の素「食と健康」国際協力プログラム HP>

<http://www.ajinomoto.com/jp/activity/csr/ain/ainkoubo.html>

手順 2 ・ 応募要項を参考に、申請書類を作成

* 事業計画書の作成方法等につき説明会を開催する際にご連絡させていただきますので、応募をお考えの場合は早めにお知らせ頂きますと幸いです。

手順 3 申請書類一式を提出 (P.7 申請書類一覧参照) 10月30日 (金) 必着

【提出先】 原則、電子メールでのご提出をお願いしております。

電子メールの送信先

ain2016@ajinomoto.com

・ メール の 件名 には、「貴団体名 (書類提出)」とご記入下さい。

郵送の場合の送付先 (電子メールによる提出が困難な場合)

(株)味の素コミュニケーションズ

マーケティング事業本部 コミュニケーションサポート部

カスタマーサポートグループ AIN 助成プログラム申請受付
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-9-1

■お問合せ・連絡先

電子メール ain2016@ajinomoto.com

*お問合せは電子メールのみに限らせていただきます。

5. 公募実施体制

- 【主管】 味の素株式会社
- 【審査・提言】 味の素「食と健康」国際協力ネットワーク※ (AIN)
- 【後援】 (特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)、国連食糧農業機関 (FAO)
日本事務所、(公社) 日本栄養士会、日本国際保健医療学会 (50 音順)
- 【事務局】 味の素 (株) CSR 部 (AIN 事務局)

味の素株式会社と AIN について

味の素グループは、グループ理念「私たちは地球的な視野にたち、“食”と“健康”そして、“いのち”のために働き、明日のよりよい生活に貢献します」のもと、現在 26 の国・地域で、食品・アミノ酸、医薬品など、さまざまな事業をグローバルに展開しています。

そして健康で活力ある社会の実現に向け、国際協力や食育を中心とした社会貢献活動をグローバルに推進してきました。味の素(株)創業 90 周年を機に 1999 年より開始した AIN プログラム「食・栄養分野における国際協力活動」では、有識者と連携し現地活動支援を実施しています。

URL: <http://www.ajinomoto.com/jp/activity/csr/>

味の素「食と健康」国際協力ネットワーク

AIN=Ajinomoto International Cooperation Network for Nutrition and Health

1999 年、味の素グループにおける社会貢献活動の一環である「食・栄養分野における国際協力活動」の推進組織として、国内外で活躍する専門家 NGO 関係者等を中心に設立。

- 代表 : 溝田 勉 長崎大学名誉教授、元国連・ユニセフ駐日副代表
- 副代表 : 佐藤都喜子 独立行政法人国際協力機構客員国際協力専門員、名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科教授
- 委員 : 伊藤道雄 ACC21 代表理事
- 遠藤保雄 仙台大学教授 兼 東京事務所所長、東京農業大学客員教授
- 中村丁次 神奈川県立保健福祉大学学長、公益社団法人日本栄養士会名誉会長
- 山本秀樹 帝京大学公衆衛生大学院教授
- 力丸徹 独立行政法人国際協力機構国際協力専門員
- 大野弘道 味の素株式会社取締役常務執行役員

申請書記入の手引き

■ 申請書類一覧

ご提出いただく申請書類は以下の通りです。

書類名	様式の有無	提出方法
申請書	有	原則、電子メール送信 (または郵送)
別紙1：予算計画書	有	
別紙2：事業計画書	有	
直近の過去2カ年分の年次報告書	無	

- 各々の様式に基づいて作成して下さい。
- 上記様式のダウンロードは以下の当助成プログラムホームページにて可能です。
(<http://www.ajinomoto.com/jp/activity/csr/ain/ainkoubo.html>)
- ダウンロードに問題が生じた場合には当事務局まで電子メールにてご連絡下さい。
(電子メール宛先 ain2016@ajinomoto.com)
- 提出方法については P.5 ページをご覧ください。

■ 「申請書」の記入について

以下の項目について記入して下さい。

1. 申請団体概要

- 1) 団体名
- 2) 所在地
- 3) 代表者
- 4) 担当責任者
- 5) 団体概要

2. 申請事業概要

- 1) 事業名
和文・英文の両方を記入して下さい。
- 2) 実施予定国・地域
和文・英文の両方で、出来るだけ「市町村」単位まで記入して下さい。
- 3) 事業期間
当社助成による事業実施期間を記入して下さい。
- 4) 申請金額
当社への申請金額の総額ならびに各年度の申請金額（円）を記入して下さい。

- 5) 事業実施国の拠点（現地事務所、カウンターパート等）
実施国における拠点の団体名と住所をご記入下さい。
- 6) 事業実施国の担当責任者
実施国での責任者名をご記入下さい。
- 7) 事業実施国の拠点となる団体の組織概要
申請書内の項目に沿ってご記入ください。
- 8) 事業実施の背景と必要性（AIN との適合性についてもふれてください）
受益者や地域のニーズ、解決されるべき課題やその背景を明らかにし、申請事業の必要性・重要性等について記入して下さい。
- 9) 事業の概要
事業目標（アウトカム）とその達成に至る道筋（アウトプット）を、簡潔に記入して下さい。
*アウトプット、アウトカムの用語の定義については、以下 10) 「事業内容」をご参照下さい。
- 10) 事業の内容
事業内容を別紙 2 「事業計画書」に記入して下さい。
記入には、記入例を参考に「活動」「アウトプット」「アウトカム」「インパクト」、そしてその達成度を測る指標（定量的な指標が望ましい）と、その入手手段を箇条書きにして下さい。
各用語の定義は以下を参照下さい。

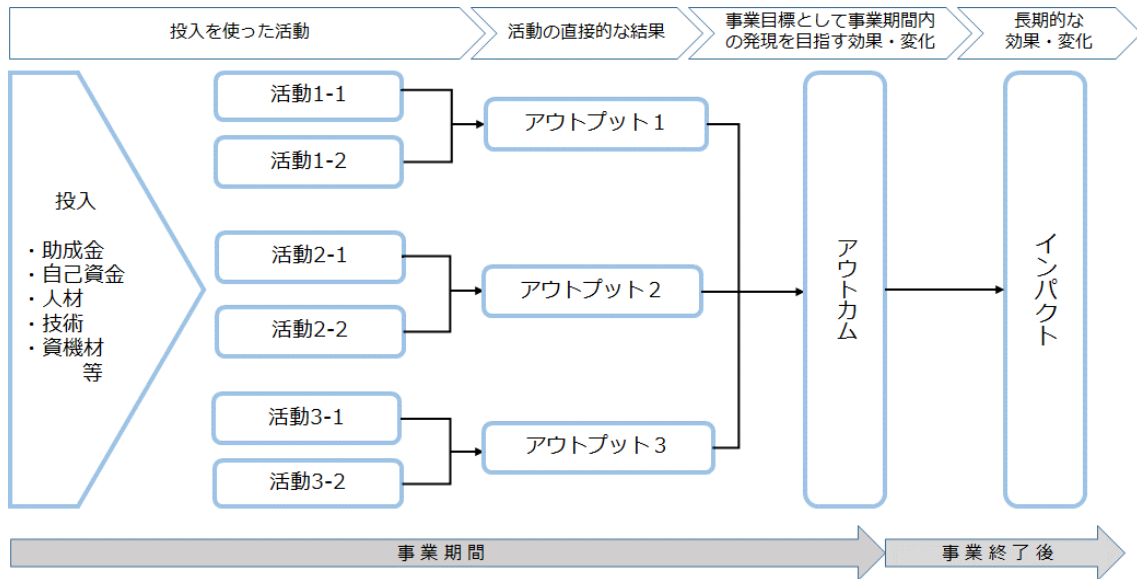
本プログラムにおける用語の定義

ロジックモデル	：事業を通じて成果を生み出すための論理的な道筋
活動	：投入される資金、人材、技術等を使って実施される具体的な活動
アウトプット	：活動の結果として生み出される財やサービス、意識、知識、行動やその変化。アウトカムの達成に関連する。
アウトカム	：アウトプットの結果によって、事業期間内に達成されると見込まれる効果。事業目標とする。
インパクト	：アウトカムの結果によって、事業終了から 3 年～5 年までに発現が期待される長期的な効果。上位目標とする。

事業内容の組み立てには、図 1「ロジックモデルに基づいた事業内容の整理」を参考に、投入→具体的な活動→活動によって直接的に生み出される結果（アウトプット）→事業期間内に発現を目指す効果・変化（アウトカム）→長期的に発現することが期待される効果・変化（インパクト）の流れにおいて、論理的な因果関係が成立することを念頭に、各構成要素（活動、アウトプット、アウトカム、インパクト）を設定して下さい。

アウトカムの設定が最も重要と考えますので、設定数は 1～2 にして下さい。

図1：ロジックモデルに基づいた事業内容の整理



11) 受益者と人数（直接・間接）

事業の対象者として、事業が主に便益をもたらすことを意図する個人やグループ（直接受益者）、事業を通じて間接的に便益がもたらされる個人やグループ（間接受益者）の人数を分けてご記入下さい。

また、プロジェクトを進める中で育成されるリーダー数も、ご記入下さい。

【例】給食を通じた栄養改善事業

直接受益者：給食を提供される児童（1,000人）

間接受益者：児童の家族、地域住民（3,000人）

（うちリーダー育成人数：コミュニティヘルスワーカー 20人）

12) 事業の実施体制

事業に従事するスタッフならびにカウンターパートの役割や人数、体制、現地関係者（地域行政、住民グループ、現地NGO等）との関わりについて、体制図等でわかりやすくご記入ください。

事業実施国担当責任者のプロフィールも、記入または添付にてご提出願います。

13) 事業終了後の持続性確保に向けた取組み

事業終了後も事業の成果や効果が、技術面、体制面、資金面において対象地域の人々の自助努力によって持続されるよう、事業期間内に実施する取組みや工夫について記入して下さい。

14) 予想されるリスクとその対応策

申請事業の運営・管理において、現時点で予想されるリスク（実施が困難になるリスク、効果が発現しないリスク等）・外部条件と、その対応策について記入して下さい。

3. その他関連事項

当社への申請プロジェクトが、同エリアで実施されるより広範囲な事業の一環（例えば、〇〇〇プロジェクト中の、「栄養改善」テーマに特化して当社助成金を使用する）である場合は、その事業名、助成団体名、事業総額（自己資金を含む概算）、事業期間をご記入ください。

4. 助成・申請歴

該当する欄にご記入ください。

5. 当プログラムを知った媒体

該当する欄にチェック、ご記入ください。

6. アカウンタビリティ・セルフチェック（ASC）の実施

（特活）国際協力センター（JANIC）が提供している、組織のアカウンタビリティに関する自己診断公表ツールです。マーク取得済みの場合はチェックを入れてください。詳しくはHPをご参照ください。 <http://www.janic.org/more/accountability/selfcheck/>

7. 当プログラムに対するご意見

自由にご記入ください。

8. 別紙1、2の記入について

書類名	内容・注意事項
別紙1： 予算計画書	<p>< 記入事項 ></p> <p>(1) 申請事業に必要な経費総額</p> <p>(2) 当社への助成申請金額</p> <p>(3) 内訳：必要経費と財源の詳細</p> <ul style="list-style-type: none">・直接経費 事業実施に関わる直接的な投入費用・事務局経費 当社申請金額（各年度）の30%までを上限と致します。<ul style="list-style-type: none">① 事務局の人件費（専門家等の人件費、謝礼金は直接経費に計上してください）② 管理運営費③ 海外旅費（日本に拠点を有する非営利団体の場合のみ） 日本の事務局－活動実施地域間の本支援事業担当者の交通費 <p>ご注意事項</p> <ul style="list-style-type: none">・建設費・設備費：当社申請金額総額の50%未満とします。・通貨：予算計画書は、日本円で作成してください。・他団体より助成を受ける場合は、団体名・金額をご記入下さい。
別紙2： 事業計画書	申請書記入の手引き「2. 申請事業 10) 事業の内容」を参照し、記入例にならってご記入ください。

以上